

高石市教委交渉での発言で

教室の床、すぐ修理(清高小)

何度も「直してほしい」と言っていた教室の床が、交渉後すぐ直りました。昨年の5、7月に月初めの安全点検表に記入しました。2学期が始まった頃、高石市教育委員会の方が数人で見に来てくれていました。9、11月も安全点検表を出しましたが、修理してもらえませんでした。そして迎えた高石市教

委交渉。「各学校で何かありませんか？」の声かけにふっと思い出して、「教室の床板が1cm程膨れあがっているんです。1年生が机を運ぶたびにバターンと倒すので、とても危ないです。夏休み明けに見に来て頂きたいが、その後どうなっていますか？」と質問しました。すると「すぐに調査します。」とのこと。

2、3日後には再度、業者の方と一緒に来てくれ冬休み中に修理してもらった。これでもう引っかけなくて一安心です。もし交渉の時に言わなかったら今もそのままかもしれないと、ずっと思っていました。今回のことで声をあげることが大事なんだと改めて感じました。一人でも多く対市交渉に参加していったら、もっといろんな事を変えていけるかもしれません。

シリーズ「人権教育」Q&A ③

このシリーズは、大阪教育文化センターが発行した「輝け子どもたち」2013年版からの転載です。

Q3 将来部落差別に合うかもしれないから教えないといけないと言われましたがどう考えたらいいでしょうか。

見や差別は、いじめと同じで特に根拠があつて行われるとは限りません。個別の事象について根拠がないことをいちいち学習することは不可能ですし、必要ありません。

「人間は、みんなおなじようにかけがえのない値打ちがある」ということ、憲法97条に示す「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。」ことの理解が大切です。

2010年の大阪府民意識調査分析編でも「『差別意識はさらに強くなっている』と認識している人の人権意識が高いわけはありません。また、『同和問題は知らない』という人の人権意識が低いわけでもありません。」としています。

「冬の泉北教研」

2月1日(土)13:00～
和泉コミセン

講師：田中孝彦氏 武庫川女子大学大学院教授

教育科学研究会(教科研)委員長

講演「子ども理解と学習指導を結びつける教育実践を探る」

参加費無料

事前申込不要 教育関係の書籍販売有り

第25回青年フェスタ

2月15日(土)～16日(日)
箕面観光ホテル

教育は、基本的人権の主なもの教えなければいけません。現実に若者が直面している労働基本権やパワハラについて、自己責任でなく社会のありようの問題であること、を教えることは重要です。部落問題はとうていしょつか。封建社会から尾を引く問題で、今日の日本社会から消滅しつつある問題です。出会う可能性は「可能性」という意味ではゼロではありません。でも、何時間も取り上げない問題ではどうか。偏

泉北教組臨時大会 女性部臨時大会

泉北教組大会終了後 青年部大会

2月18日(火)

午後5時30分

和泉コミュニティセンター

泉北教組に加入して、「評価・育成システム」をなくそう